

生涯学習推進大会

2月17日、第20回串間市生涯学習推進大会が串間市文化会館でありました。生涯学習成果作品展や舞台での成果発表に加え、ムツゴロウさんと畑正憲さんが講演。参加した約800人は笑いの絶えない講演に聞き入っていました。



講演をする畑正憲さん

楠並木朝市によかむん市が登場

2月3日、宮崎県庁前で開かれる、いっちゃんが宮崎楠並木朝市に「くしま朝市よかむん市」が特別出店しました。物産コーナーへの出店をはじめ観光PRコーナーの設置や串間の太鼓やバンド演奏が行われ、多くの人が足を止めていました。



多くの人でにぎわいました



My Town Topics まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

冬の星空を楽しみました



2月16日、都井岬で『冬のダイヤモンド夜の都井岬を体験しようII』と題して、天体観測会が開かれました（主催：都井岬ビジターセンター）。はじめに宮崎の星空を見上げる会の川崎智浩氏が講義。都井岬から見える星空などについて説明しました。その後、「岬の駅」都井岬前の広場に移動。専門家の説明を受けながら、大パノラマに描かれる星空を満喫していました。



INTERVIEW 抜群の美しさ

佐土原町在住

入江輝美子さん

友だちと泊まりがけで参加しました。天体観測は昔から好きで、都井岬も何回か訪れています。今日は、佐土原からは滅多に見られないカノープスを見ることができてうれしかったです。先生も丁寧に教えてくださったので良かったです。

Scene 5

日本人の価値観に誇りを



2月10日、串間市文化会館で、慶應義塾大学講師である竹田恒泰氏による講演会がありました（主催：宮崎県商工会議所青年部連合会）。『日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか』と題して、日本人の価値観の海外との違いや、世界から見た日本の印象などを紹介。自身の豊富な体験を交えた講演に、市内外から参加したおよそ700人は熱心に聞き入っていました。



INTERVIEW 価値観の違い

福島高校・2年

福留拓さん

とても面白い講演でした。いつか先生の下で学びたいと思うほどです。日本人の価値観の素晴らしさや、歴史を学ぶことの大切さを改めて感じました。色んな国の人と話して、色んな価値観を知って『和』の精神を実践していきたいです。

Scene 4

政治に対して若者が主張



2月8日、総合保健福祉センターで『第7回わけもんの主張南那珂支会予選会』が開かれました。会には南那珂2市から4名が参加。選挙や政治に対して感じていることを、自分たちの仕事や体験を交えながら発表しました。審査の結果、川添雄介さん（日南市）と武田佳太さんが優秀賞に輝きました。2人は、その後開かれた県大会でそれぞれの思いを発表しました。



INTERVIEW 自分の思いを

串間市役所

武田佳太さん

自分が長年バレーボールをやっているので、スポーツと選挙の共通点をテーマに発表しました。発表する前は緊張しましたが、発表中は少し気持ちが高揚していたように感じます。来週の県大会では、自分の思いを精一杯伝えてきたいです。

Scene 3

日本一を目指しキャンプ



2月1日から16日まで、JR東海硬式野球部（青山真也監督）が串間市総合運動公園で冬季キャンプを行いました。今年で4年目となる当キャンプ。市役所での歓迎セレモニーでは甘しょや焼酎など串間市の特産品が贈られました。また小学生を対象に野球教室を開いたり、毎朝の散歩中にごみ拾いをするなど積極的に地域との交流も行い、来季に向けて練習に励みました。



INTERVIEW 皆さんに感謝

JR東海硬式野球部

青山真也監督

今年のキャンプも球場や宿舍の皆さんにサポートしていただいて、集中して練習に取り組むことができました。市民の皆さんからの何気ないあいさつが一番励みになりました。都市対抗野球大会で日本一になることで恩返しをしたいですね。

Scene 2

おいしいキンカンの収穫



1月30日、北方地区の古屋農園で福島小学校の5年生がキンカンの収穫体験をしました。『くしま学』の一環で行われたもので、事前に行われた古屋修市さんによる特別授業でキンカンについて勉強。おいしいキンカンの見分け方や流通の仕組みなどを学びました。当日は友だちより大きなものを選ぶと夢中で収穫。収穫後はおいしいキンカンを堪能していました。



INTERVIEW びっくりです

福島小・5年の

山口梨音さん(左)
井上裕賀さん(右)

すごく楽しかったです。いろんな大きさのキンカンがあってびっくりしました。古屋さんにキンカンのお話をたくさん聞くことができ、すごく勉強になりました。教わったとおりの方法で選んだキンカンは大きくてとてもおいしかったです。

Scene 1

ドクターヘリの搬送訓練



1月27日、市木地区の多目的広場で築島での急病患者を想定したドクターヘリの搬送訓練がありました。救急隊の到着まで時間のかかる築島の場合、例外的に通報の時点でヘリ搬送を判断するという運用方式。島民、消防、ヘリの連携が必要なため、今回の訓練を実施しました。ヘリは通報から約13分で到着。患者を搬送し、上空を旋回して再び着陸訓練を終えました。



INTERVIEW 貴重な経験に

市木地区・築島在住

近藤愛子さん

訓練で通報者役を務めました。実際に消防本部と電話でやり取りをしながらヘリの到着を待ちました。訓練なのに少しパニックになってしまいましたが、消防からの指示で助かりました。ヘリにも乗れたし、とても貴重な経験になりました。